

## 歴史に学ぶ「渋沢栄一」 日本経済の父

校長 桐野 和之

江戸時代に鎖国を続けた結果、日本は外国に比べて科学や工業の発達が大幅に遅れてしまいました。しかし明治維新の後は驚くほどのスピードで欧米に追いついていったことは、皆さんも学習していてよく知っていると思います。

例えば、日本で学校制度ができたのは明治5年、鉄道が初めて開通したのは明治5年、郵便制度が開始されたのは明治4年でした。このように、日本では侍が刀を持って道を歩いていた時代からわずか数年で次々に先進国の文化を吸収し、世界中を驚かしたのでした。それでは経済の分野ではどうだったのでしょうか。これも全く同じでした。明治6年には日本で最初の銀行がつくられ、その後も次々と重要な会社が設立されて日本の経済は急速に発展していったのです。そしてその発展の中心にいたのは、一人の天才的な日本人でした。その人の名前は渋沢栄一といいます。

渋沢栄一は江戸時代の終わり頃に、現在の埼玉県の裕福な農家に生まれました。少年時代から家業の農業を手伝いながら、勉強や剣術の稽古に励んでいました。

しかし二三歳のときに、幕府を倒して新しい社会をつくるという運動に加わるために、家を出て京都に行ったのです。ところがひょんなことから徳川家の屋敷で働くことになり、二七歳のときに、将軍徳川慶喜の弟の徳川昭武の家来としてヨーロッパに渡ったのでした。そして、一年間、身分差別のない自由平等な社会を見学しながら、さまざまな経済の制度を学んで帰国したのです。



彼が帰国した時には、日本ではすでに江戸時代から明治時代が変わっていました。その変革の社会の中で渋沢の大活躍が始まります。製紙会社、紡績会社、レンガ工場、ガス会社、造船所、電気会社、航空会社、放送局など、次々に欧米のシステムを参考にして会社を設立し成功させていったのです。九一歳で亡くなるまでに、彼が設立に携わった会社の数は五〇〇を超えたそうです。すごいバイタリティです。

渋沢栄一の素晴らしい点は、二つあります。

第一は、作った会社を自分のものにしなかったということです。身内だけが裕福になる「財閥」というものをけっしてつくりませんでした。

第二に、彼は社会の福祉事業にも力を尽くし多くの学校や孤児院をつくったということです。彼は常に社会全体の幸せを追求したのでした。私はある日、本の中で渋沢栄一の生い立ちとともに、彼のお母さんの話を知りました。このおかあさんが大変心の優しい人だったのでした。村に病気のおばあさんが一人ぼっちで暮らしていました。村人は皆、病気がうつるといって近寄ろうとしませんでした。しかし、渋沢栄一のお母さんは優しい人で、村の共同風呂にそのおばあさんと一緒に入って背中を流してやったり、体中のシラミを取り除いてやったりしたそうです。渋沢栄一の結婚式のときのことでした。突然そのおばあさんがお祝いのまんじゅうを作ってもってきたのです。皆は、病気がうつることを心配して、食べなかったのですが、お母さんだけはお礼を言って喜んで食べたのです。世の中の発展に尽くした渋沢栄一の生き方にはこのようなお母さんの影響があったことを知り、私は一層深い感動を覚えました。渋沢栄一のような立派な日本人がいたことに大きな喜びを感じます。

# 教育実習を振り返って

## 実習生（養護）

私は養護実習のため主に保健室で実習させていただきました。保健室経営や養護教諭の職務などの基本的なことから、けがの処置や体調不良を訴える生徒の対応などの実践的なことまで、たくさんのことを学び、経験しました。さらに生徒と関わるうえで大切なことを先生方だけでなく、生徒からも得ることができました。



また、第一学年を対象に熱中症についての授業を行いました。一学年全体に授業をするという貴重な経験をさせていただき、指導の難しさだけでなく、生徒の反応や発言、ワークシートなどで豊かな発想、考えを得ることができ、指導の面白さも感じました。

今回の実習を経て、具体的な養護教諭像や保健室経営について改めて考えることができ、また、養護教諭の魅力を再確認できました。実習で多くの学びを得たことはもちろん、生徒との関わりが楽しく、あっという間に感じた三週間でした。今回の貴重な経験で学んだことを生かし、勉学に励みたいと思います。お世話になった先生方、生徒の皆さん、ありがとうございました。

## 実習生（理科）

3週間前の5月10日にみなさんの前でご挨拶させていただいた日を、今でも鮮明に覚えています。初対面にも関わらず、すれ違う生徒全員が私に挨拶をしてくれて、なんて素敵な学校だろうと思いました。



また様々な授業や運動会練習、部活にも一緒に参加させていただいて、みなさんがそれぞれ一生懸命に中学校生活を送っているのを感じました。ぜひ、この貫井中学校という素晴らしい環境で学びを深めて、素敵な大人になってください。

私の拙い授業を、みなさんが一生懸命に聞いてくれて本当に嬉しかったですし、それに応えたいと頑張ることができました。

そして先生方には、アドバイスをいただいたり、授業を見学させていただいたり、教育の信念について語っていただいたりと、大変お世話になりました。

一生に一度しか経験することのできない貴重な体験をさせていただき、大きく成長することができたと実感しております。

3週間という短い間でしたが、本当にありがとうございました。

## 実習生（数学）

コロナにより大変お忙しい時期の中、貫井中学校で教育実習をさせていただきました。生徒だけでなく、先生方や貫井中を管理している方々、給食を作っている方々などの貫井中学校に携わる方たちに支えられ、大変お世話になりました。



この3週間は初めて先生の世界に入り、同じ作業をしてとても貴重な経験を何度もさせていただき私自身でも人生の中で1番成長したと感じています。

実習が始まる前は3週間が長いと感じていたのですが、生徒と関わるのがとても楽しすぎてあっという間でした。初日は生徒たちと馴染めるか、うまく授業ができるかなど多くの不安があり、先生らしさというのが何もありませんでした。しかしその不安なども生徒が運動会を熱心に頑張っている姿を見るたびに、自然と力が湧いてきて自分も頑張らないと感じさせられました。やっと皆さんと馴染んできて、これからだと思った時が最終日でとても寂しいです。必ず先生になってまた皆さんと会える日を楽しみにしています。3週間本当にありがとうございました。

## 第59回運動会を目前に控えて

昨年度とは違い、現在校内では運動会に向けた子どもたちの躍動的なようすを窺うことができます。やはり机の上の学習と、そうではない学校行事、特別活動等をバランス良く設定していくことは、子どもたちにとって心の豊かさを含め、生きる力をはぐくむ上で大変重要なことだとあらためて感じています。ただし、細心の注意、配慮をした上でという条件が付きます。

マスクの絶対的な着用。種目前後での手洗い、手指消毒の徹底。(生徒席の後ろには手指消毒液を置く。) 密にしないために種目においても、生徒の応援席でも常に距離をとるよう工夫する。生徒同士が対面しない。身体的な接触を避ける。使用用具の消毒。ソーシャルディスタンスの確保。そのために保護者や来賓の方々の運動会への臨席をご遠慮頂く。大きな声は出さない(安全確認、指導助言を除く)。



軍団ごとの応援合戦も極力声を出さない。声を出す場合は距離を取った時に限り、また、声を出す機会は3回までとするルールがある。例年実施してきた貫井中学校の伝統的な種目でも残念ながら実施できないものもあります。

学校が保護者や地域の方々に学びの成果を披露できないことは痛恨の極みです。しかし、今は子どもたちの学びが優先順位の一歩です。ご理解を頂きたいです。

今年度の学校行事は運動会をはじめ、さまざまなことに、細心の注意、配慮をしながら進めていきます。また、行事の実施にあたっては、感染予防のために、途中で計画等の軌道修正を図りながら実施していきます。



運動会予行の様子(6/1)



## 新聞を読んで (読売新聞)

5月の読売新聞の記事に、中学生が書いた記事が掲載されていました。

しっかりとした文章であるとともに、自らの考えや主張が、学校での日常の学びを適切に活かしながら書かれていることに大変感銘を受けました。貫井中生の皆さんにもぜひ読んでもらいたいと思い紹介します。また、できれば新聞を読むきっかけになればと思います。



## 「勇気持って挑戦が重要」

中3／女子生徒

会社の管理職など、指導的地位にある女性の割合が増えることが重要だと思う。

私は今、生徒の健康管理などを行う保健体育委員長を務めている。保健体育委員長は男性がやるものという空気があったので、立候補する時は少し迷いがあった。周囲の反応が気になったが、いざ委員長に就任すると、みんなが私を委員長と認めてくれて、問題なく活動している。私はこの経験から、前例や周囲の視線にとらわれず、自分の気持ちを大事にして、勇気を持って物事に挑戦することが重要だと気付いた。私たち女性は、誰かに過ぎしやすい社会を築いてもらうのではなく、自分たちで築かなければならないのだ。女性が活躍する社会の実現は、女性の行動にかかっている。



## 「女性閣僚2人寂しい」

中3／男子生徒

僕が考える「女性活躍社会」とは、女性が積極的に意見を発したり、気持ち良く働いたりできる社会だ。今は、女性が十分に活躍しているとは言えないが、変化の兆しは徐々に出てきている。

重い荷物を運ぶ仕事に従事している女性はまだ少ないと思うが、科学などの分野では、能力を発揮している人が増えている。新型コロナウイルスとの闘いでは、多くの女性医療従事者が治療などにあたっている。

ただ、政界に女性が少ないのは気にかかる。菅内閣の女性閣僚が2人というのはさびしい。女性閣僚が積極的に発言することで、女性が活躍する社会の実現を一層、前進させると思う。政界に限らず様々な分野で女性を登用し、男女ともに意見を出し合える組織や社会を作ることが大切だ。



### 部活動等の報告(6／4現在)

バドミントン部 総合体育大会 団体戦 男子 貫井中0-2開進四中

女子 貫井中1-2旭丘中

卓球部 総合体育大会 個人の部 準優勝

バスケットボール部 総合体育大会 女子 2回戦敗退

柔道部 第3フロック大会 団体戦 男子 準優勝 女子 優勝

個人戦 第1位 男子 50kg級 55kg級

81kg級 90kg級

90kg超級

第1位 女子 40kg級 44kg級

48kg級 57kg級

63kg級 70kg超級

陸上部 地域別陸上競技大会

2年男子100m 12秒16で都大会出場